社会福祉法人　福田会
週次報告書

2022年6月7日 / Vol. 004

5月30日(月)～6月5日(日)の支援活動

- 避難所への支援物資提供
- レストランプロジェクト
- カメラマンボランティアによる活動の撮影
- スタッフミーティング
- ウクライナ人避難民の方のアルバイト雇用
- 児童養護施設の子どもたちのためのサッカーワールドカップ視察と挨拶

現地ボランティアから福田会支援者の皆様へ
贈られたTシャツ・チョコレート・盾

ご支援総額

2022年6月2日までの寄付総額

84,885,623 円

5月30日(月)～6月5日(日)の期間中の
寄附金使用額

76733.08 zl(約223万円)

社会福祉法人　福田会

週次報告書

2022年6月7日 / Vol. 004

活動内容

クラクフ市内シェルターへの支援物資提供

シェルターでは現地ボランティアの要望を受けて、おむつ、シャンプー、ジュース、インスタント食品などを毎日購入している。
クラクフ中央駅の簡易避難所は24時間開放されており、現地ボランティアの1日の動きを知るため、福田会スタッフも交代で支援活動に参加した。

レストランプロジェクト

クラクフ市内のレストラン4店舗と協力し、温かい食事の提供。前週は4店舗合計で2100食以上を提供した。

カメラマンボランティアによる活動の撮影

専属カメラマンがおらず、1日の支援活動の様子の撮影が難しかったため、以前福田会と仕事をした事のあるカメラマン　Łukasz氏にお願いをしクラクフを訪問して頂いた。福田会スタッフに1日密着し、支援活動のサポートと撮影をして頂いた。

スタッフミーティング

今後の活動内容についての打ち合わせを行った。
また、毎日支援物資を提供している避難所ボランティアスタッフより、福田会と支援者の皆様宛に贈り物を頂いた。
これまでの活動の様子をコラージュした盾とチョコレート、Tシャツが贈られた。
盾には支援への感謝のメッセージ、Tシャツにはペロン４のボランティア（ペロン４はプラットフォーム4番という意味があり、避難所がある場所を指す。）が記されている。

社会福祉法人　福田会

週次報告書

2022年6月7日 / Vol. 004

活動内容

ウクライナ人避難民の方のアルバイト雇用

避難所やレストランプロジェクト参加店オーナーとの交渉にウクライナ語話者が必要であったため、先週面談を行ったウクライナ人避難民の方と正式にアルバイト契約を締結。
今後は通訳業務などで活動のサポートに入って頂く予定。
彼女は親子3世代でクラクフへと避難してきており、高齢の祖母と母を支えるために仕事を探していた。

児童養護施設の子どもたちのためのサッカーワールドカップ視察と挨拶

児童養護施設の子どもたちのためのサッカーワールドカップ主催団体（Hope for Mundial）へサッカーボールを寄付し、本大会の視察と挨拶を行った。

（福田会は、2016年から同会の子どもたちと東京にある63の児童養護施設の子どもから選手を選抜し、サッカーチーム「東京フレンズ」を結成している。試合はワルシャワで開催されており、過去にはウクライナの児童養護施設から選抜されたチームとも2回対戦している。）

写真は福田会・太田理事長の祝辞を代読する、福田会ポーランド支部代表・吉田

現地の動向

ポーランドに流入したウクライナ避難民の数は約383万人とされている。(6月5日時点)
ヨーロッパは観光シーズンへと突入し、3か月前は避難民で溢れ返っていたクラクフ中央駅も、観光客の姿の方が目立つようになった。
ウクライナからの避難民はこれまでポーランド国内の公共交通機関を無料(または割引料金）で利用出来ていたが、6月より一般料金へと戻るため、移動が困難になる層が増加すると見込まれる。